

様式第6号（第5条関係）

政務活動費実績報告書

8年3月31日

久慈市議会議長 様

会 派 名 自民クラブ

代表者名 八重櫻 友夫

政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

使 途	☒ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 広報費	☐ 広聴費	☒ 要請・陳情活動費
	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務所費
実施期間	令和8年3月30～31日				
実施場所	3月30日：農林水産省、国土交通省、内閣府、経済産業省（要望活動） 3月31日：東京都江東区有明「そなエリア東京」（視察）				
参加者名	八重櫻友夫、下川原光昭、小林光彦、山内七恵				
実績額	200,080円				
内 容	1日目 ■要望活動の概要 浮体式洋上風力発電の実現に向け、関係省庁に対し以下の要望を行った。 1、農林水産大臣への要望 洋上風力発電事業と漁業の共生、および領域利用の促進に関する要望した。 2、国土交通大臣への要望 久慈港の基地港湾（拠点港湾）指定に向けた支援および浮体式対応の施設規模検討に関する要望をした。 3、経済産業大臣への要望 洋上風力発電の投資予見性の確保、送電網の整備及び公正な市場環境の構築に関する要望をした。 4、内閣府特例担当大臣への要望 持続可能な海洋の構築に資する洋上風力発電の最大限の導入に向けた政府の指令機能の強化に関する要望をした。 ■提言				

①港湾機能の強化と基地港湾化の推進

浮体式洋上風力発電の導入を見据え、久慈港における岸壁機能及び用地確保等の基盤整備を進めるとともに、国と連携し基地港湾化に向けた取組を一層推進する必要がある。

②エネルギー基盤の強靱化

送電網整備の動向を踏まえ、再生可能エネルギーの導入促進と併せ、災害時においても機能するエネルギー供給体制の構築を検討することが求められる。

■その他

衆議院議員・鈴木俊一代議士を訪問し、久慈市の現状や課題、洋上風力発電、闘牛サミット等について意見交換を行った。

2日目

■視察先

東京臨海広域防災公園内 防災体験学習施設「そなエリア東京」

■視察の目的

久慈市は、日本海溝・千島海溝沿い巨大地震に伴う津波避難対策特別強化地域に指定されている。大規模津波発生時における避難体制の強化、要配慮者支援、物資供給体制、広域支援受入体制の整備が喫緊の課題であることから、本市の防災・減災対策に資する知見を得ることを目的として視察を実施した。

■施設等の概要

当該施設は、首都直下地震等の大規模災害発生時における広域防災拠点として位置付けられ、以下の機能を有している。

- ・災害対策本部機能
- ・物資の集積・輸送機能
- ・広域支援受入機能

平時においては、防災体験学習施設として一般公開され、実践的な体験プログラムを通じた防災教育が行われている。また、要配慮者に配慮した避難所運営の工夫や、関係機関との連携体制の構築が特徴である。

■提言

①実効性のある避難所運営体制の構築

要配慮者に配慮した避難所運営マニュアルの整備に加え、自主防災組織や防災士と連携した実践的な訓練の実施し、運営能力の向上を図ることが必要である。

②関係機関との連携強化

国・県・民間事業者との連携を強化し、災害時における役割文体及び協力体制を明確化することを求める。

③防災教育・意識向上の推進

体験型の防災教育をさらに推進し、市民一人ひとりの防災意識向上と、自助・共助の取組促進を図ることが重要である。



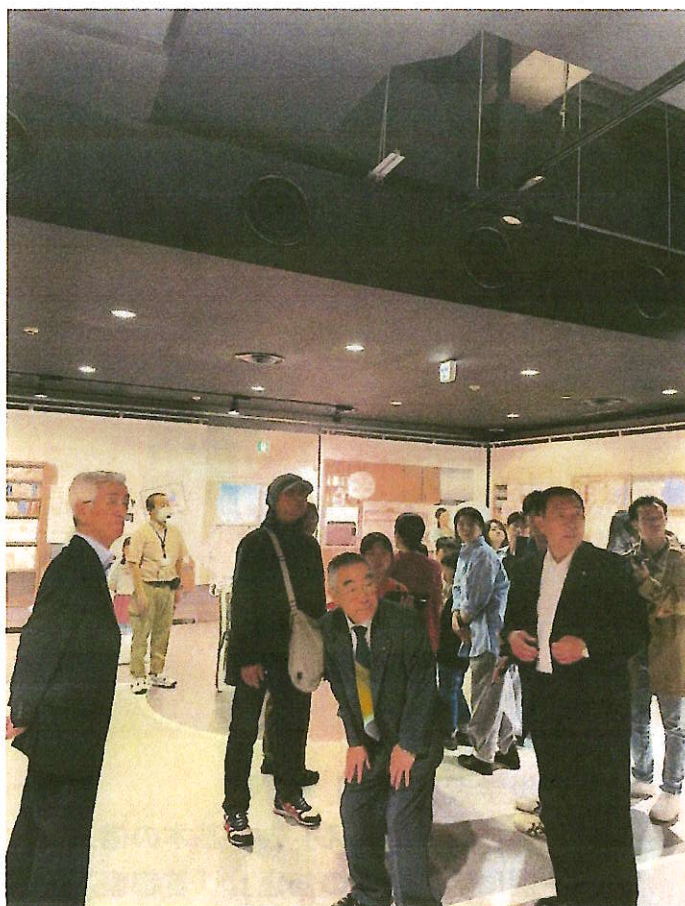
要望活動



要望活動



衆議院議員 鈴木俊一代議士（自民党幹事長）

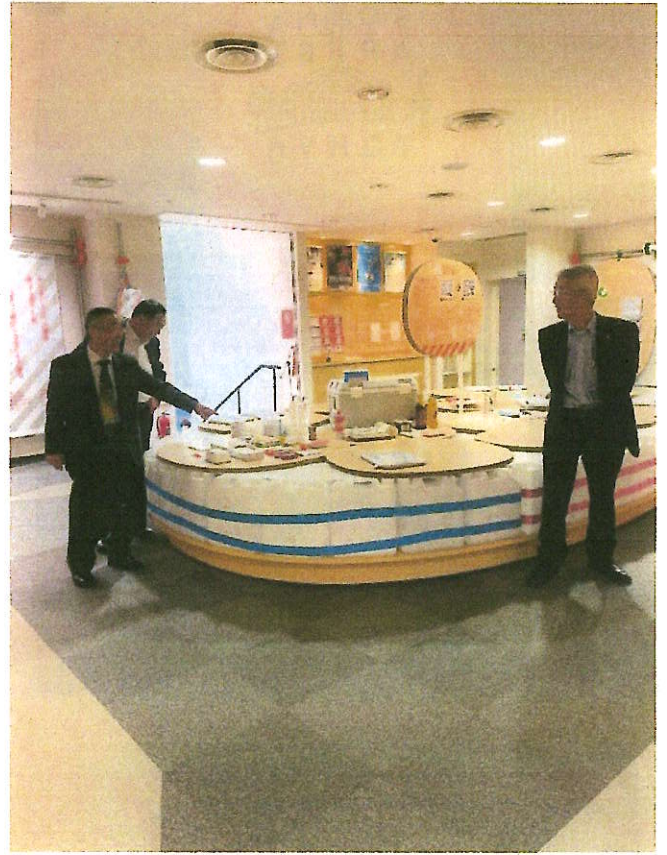


【防災体験ゾーン】

係員の説明をいただきながら、地震発生後 72 時間の生存力をつける、体験学習ツアーに。

音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、クイズ形式で注意事項を確認しながら避難場所へ移動。





【防災学習ゾーン】

「一人ひとりの備え」と「基本の備え」。

「事例に学ぶ自助の知恵」。「首都直下地震特設コーナー」。「津波避難体験コーナー」。

「自助体験」など、子どもから大人まで楽しみながら学べる様々なプログラムがあった。



自民クラブ 収支報告 (3/30要望活動、3/31防災体験学習そなエリア東京)

	項目	実績額	内訳
1	交通費 宿泊費	183,280 /	○バス (久慈-二戸間往復) スワロー号1,570円×4人×2回=12,560円 / ○新幹線代 (二戸-東京往復) 30,880円×4人=123,520円 / ○宿泊費 11,800円×4人=47,200円 /
2	タクシー代	16,800	3/30 6,900円 / 3/31 9,900円 /
	計	200,080 /	

RECEIPT
領 収 証

No. 0000011047001

発行日. 2026年03月18日

自民クラブ 様

¥187,680- (税込)

THE MENTIONED SUM OF MONEY IS DULY RECEIVED

上記の金額正に領収致しました。

(領収日 2026年03月18日) 現金¥187,680-



株式会社みちのりトラベル東北

岩手県盛岡市厨川1-17-18

久慈支店

TEL. 0194-53-5221



適格請求者登録番号: T8400001000133

【社印、担当者印なきもの及び
金額訂正したものは無効です】



自民クラブ 様

御見積書

ご旅行コード 401126030014-004-000

観光庁長官登録旅行業第2012号
株式会社みちのりトラベル東北

久慈支店

028-0051

岩手県久慈市川崎町16-5

TEL:0194-53-5221 FAX:0194-53-5222

責任者:

取扱管理者:

担当者:

ご出発日	2026年03月30日(月) (1泊 2日)	大人	中人	小人	幼入	人数計
ご旅行名	自民クラブ 視察研修旅行	4				4
行先	関東 東京					

分類	種別	税区分	基本料金	数量	金額	税額	項目見積金額	摘要
交通費運賃	路線バス	内税10%	1,570	4	6,280	(税込)	6,280	久慈⇒二戸 スワロー号
	路線バス	内税10%	1,570	4	6,280	(税込)	6,280	二戸⇒久慈 スワロー号
	JR	内税10%	30,880	4	123,520	(税込)	123,520	二戸～東京 普通指定席 往復
	小計				136,080		136,080	
宿泊費	一泊朝食	内税10%	11,800	4	47,200	(税込)	47,200	グァイイ品川大井町 シングル
	小計				47,200		47,200	
取扱料金	取扱料金	内税10%	1,100	4	4,400	(税込)	4,400	
	小計				4,400		4,400	

1. 上記料金は、作成日基準の運賃で算出しております。
2. お見積人数が変更の場合は、再見積させていただきます。

お一人様ご費用

46,920

ご旅行総合計

187,680

税区分別合計

税区分
10.0%消費税税込金額
187,680消費税額等
17,062

備考

973-代

3/30

領収書

No006

2026年03月30日

車番 4793

運賃 1500円

運賃料金計 1500円

計 1500円

消費税率 10.0%

登録番号: T9010801007936

おおもりタクシー株式会社

TEL 03 (3743) 4321

領収書

車両番号 1287号
2026年03月30日 15:52
毎度ご乗車ありがとうございます
(現金, チケット, クーポン, カード)

乗車料金 5400円

運賃料金計 5400円

計 5400円

消費税率 10.0%

日本交通株式会社 登録番号: T6011501015892

日本交通 板橋営業所

お忘れ物は、忘れ物検索サービスFindへ

QRを読み込み、Lineからお問い合わせ

その他はカスタマーサポートデスクへ

TEL: 050 (3173) 9200 平日 9:00~17:00

3/31

領収書

日付 2026年03月31日

車番 4644

基本運賃 ¥5600-

合計 ¥5600-

(内消費税等 ¥509-)

----- 内訳 -----

現金支払 ¥5600-

登録番号: T 8010801018901

kmグループ 国際自動車(株)

東雲営業所 03-5520-5934

お客さま相談室 0120-717-039

忘れ物の問合せは

「find」 問合せ用QR

<ナビコード>

A46-4344-2301

(営業回数3680)



領収書

現金・チケット・クーポン・割引 No.2537

日付 2026年 03月 31日

車番 003520 0800

運賃 ¥4,000-

迎車料金 ¥300-

運賃料金計 ¥4,300-

合計 ¥4,300-

内消費税等 ¥390-

消費税率 10%

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます

登録番号: 16810277400834

後藤タクシー

ドア番号 134

お忘れ物のお問い合わせは

日創連東京都営業協同組合 個人タクシー事業回支部

平日9~17時の受付 03 (3426) 6151

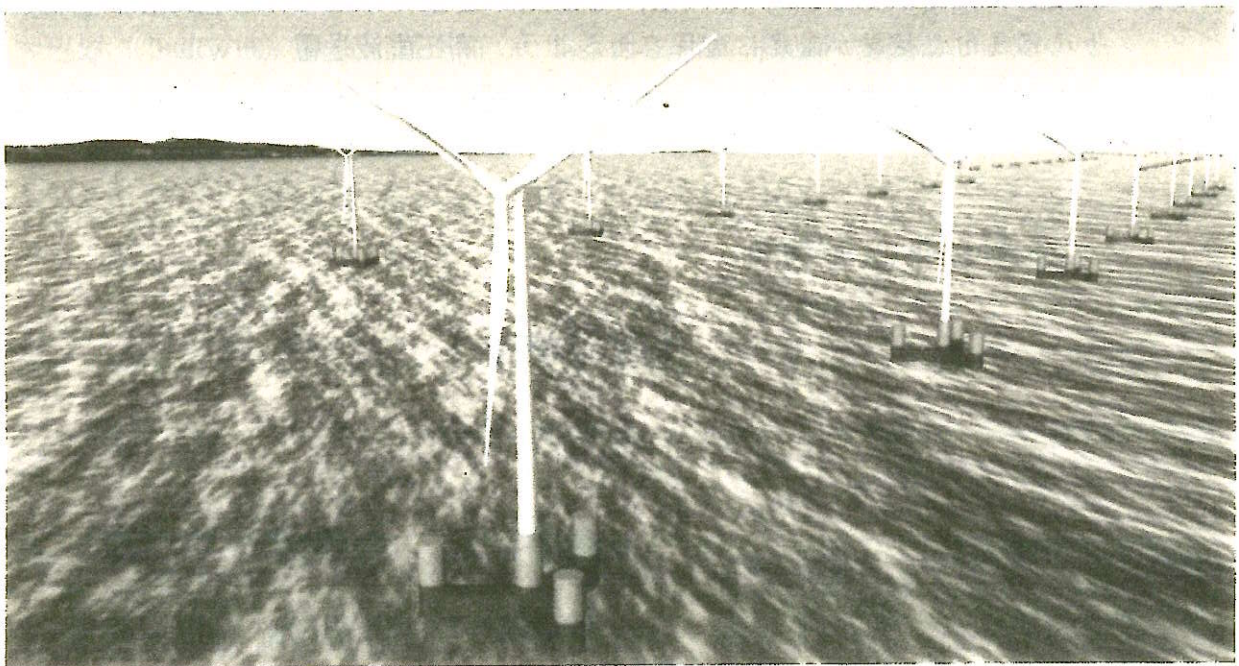
上記時間外の受付

お忘れ物センター 03 (5976) 9166

要望書

経済産業大臣

赤澤 亮正 殿



久慈市沖浮体式洋上風力発電イメージ

岩手県久慈市議会
自民クラブ

2050 年カーボンニュートラル達成に資する 久慈市沖浮体式洋上風力発電の実現に関する要望

背 景

国では、成長戦略の柱として「グリーン社会の実現」を掲げ、2050 年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言し、脱炭素化の取組を強力に進めています。

とりわけ洋上風力発電は地球温暖化対策への効果的手段として注目され、国においても積極的に導入促進を図っており、特に、水深が浅い海域が少ない我が国においては浮体式洋上風力発電の導入が期待されています。

当市では、平成 30 年度から「ゾーニング実証事業」に取り組み、ゾーニングマップを作成・公表したほか、当該エリアにおける自然環境調査及び関係者との対話など、浮体式洋上風力発電の導入に向けた取組を進めています。

一方で、導入に関し、関係漁業団体の理解醸成、基地港湾整備及び送電網の脆弱性が大きな課題となっています。

つきましては、2050 年カーボンニュートラル達成に向け、下記事項について国における支援を要望します。

要望項目

- (1) 久慈市沖における浮体式洋上風力発電導入に向けた主体的な取り組みを行うこと。
- (2) 事業者の投資予見性を高め、早期の事業導入を果たすため、発電設備と電線路との電氣的な接続が確実に確保されるよう、高圧直流送電（HVDC）などマスタープランに基づく基幹系統整備及び一般送配電事業者によるローカル系統整備を積極的に進めること。

令和 8 年 3 月吉日

久慈市議会

自民クラブ

会長 八重櫻 友 夫

幹事長 下川原 光 昭

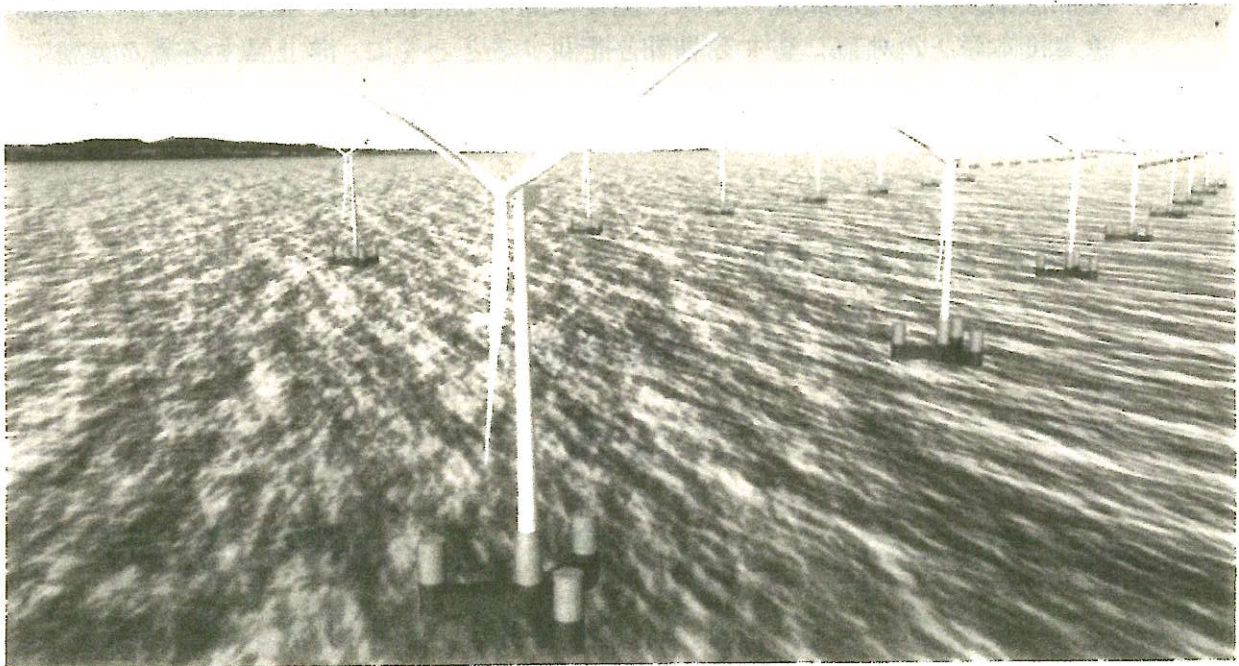
小 林 光 彦

山 内 七 恵

要 望 書

農林水産大臣

鈴木 憲 和 殿



久慈市沖浮体式洋上風力発電イメージ

岩手県久慈市議会
自民クラブ

2050 年カーボンニュートラル達成に資する 久慈市沖浮体式洋上風力発電の実現に関する要望

背 景

国では、成長戦略の柱として「グリーン社会の実現」を掲げ、2050 年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言し、脱炭素化の取組を強力に進めています。

とりわけ洋上風力発電は地球温暖化対策への効果的手段として注目され、国においても積極的に導入促進を図っており、特に、水深が浅い海域が少ない我が国においては浮体式洋上風力発電の導入が期待されています。

当市では、平成 30 年度から「ゾーニング実証事業」に取り組み、ゾーニングマップを作成・公表したほか、当該エリアにおける自然環境調査及び関係者との対話など、浮体式洋上風力発電の導入に向けた取組を進めております。

一方で、導入に関し、関係漁業団体の理解醸成、基地港湾整備及び送電網の脆弱性が大きな課題となっています。

つきましては、2050 年カーボンニュートラル達成に向け、下記事項について国における支援を要望します。

要望項目

- (1) 久慈市沖における浮体式洋上風力発電導入に向けた主体的な取り組みを行うこと。
- (2) 関係漁業団体の理解醸成のため、操業に関する情報など、県及び市が行う関係漁業団体等との対話に資する情報を提供するとともに、洋上風力発電の実施に係る我が国の領海利用が促進されるよう関係漁業団体に対して協力を求めること。

令和 8 年 3 月 吉日

久慈市議会

自民クラブ

会長 八重櫻 友 夫

幹事長 下川原 光 昭

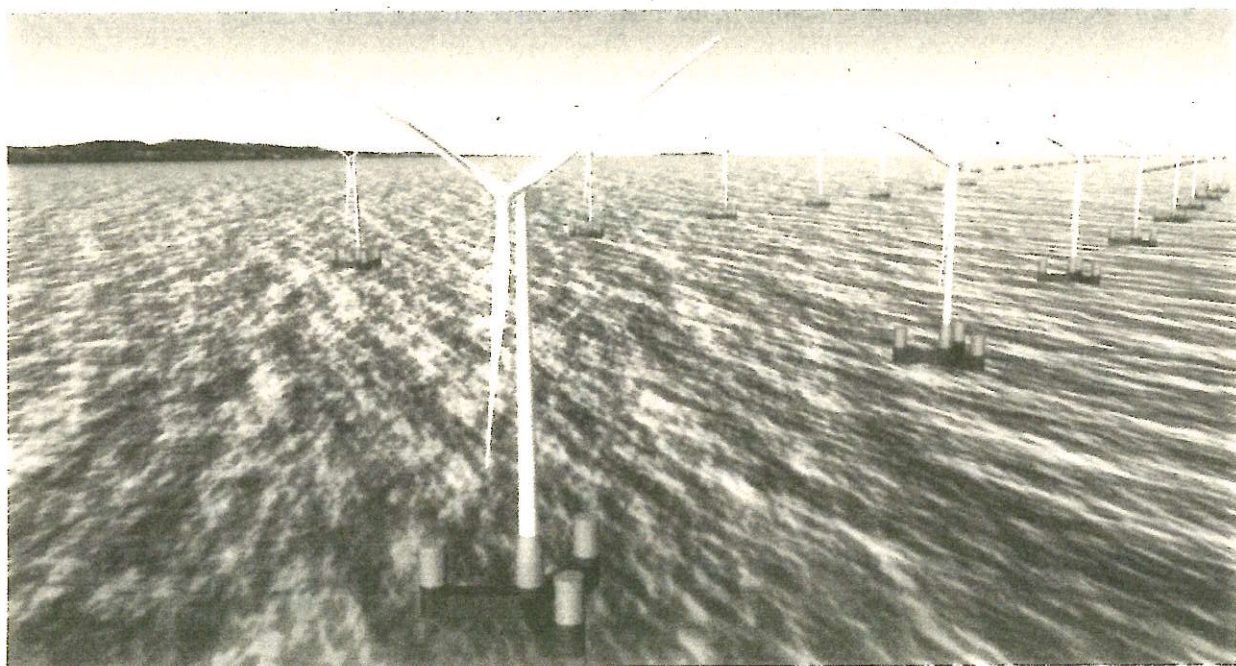
小 林 光 彦

山 内 七 恵

要望書

国土交通大臣

金子 恭之 殿



久慈市沖浮体式洋上風力発電イメージ

岩手県久慈市議会
自民クラブ

2050 年カーボンニュートラル達成に資する 久慈市沖浮体式洋上風力発電の実現に関する要望

背 景

国では、成長戦略の柱として「グリーン社会の実現」を掲げ、2050 年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言し、脱炭素化の取組を強力に進めています。

とりわけ洋上風力発電は地球温暖化対策への効果的手段として注目され、国においても積極的に導入促進を図っており、特に、水深が浅い海域が少ない我が国においては浮体式洋上風力発電の導入が期待されています。

当市では、平成 30 年度から「ゾーニング実証事業」に取り組み、ゾーニングマップを作成・公表したほか、当該エリアにおける自然環境調査及び関係者との対話など、浮体式洋上風力発電の導入に向けた取組を進めております。

一方で、導入に関し、関係漁業団体の理解醸成、基地港湾整備及び送電網の脆弱性が大きな課題となっています。

つきましては、2050 年カーボンニュートラル達成に向け、下記事項について国における支援を要望します。

要望項目

- (1) 久慈市沖における浮体式洋上風力発電導入に向けた主体的な取り組みを行うこと。
- (2) 久慈港の基地港湾化に向けた取り組みに対する支援を行うこと。

令和 8 年 3 月 吉日

久慈市議会

自民クラブ

会長 八重櫻 友 夫

幹事長 下川原 光 昭

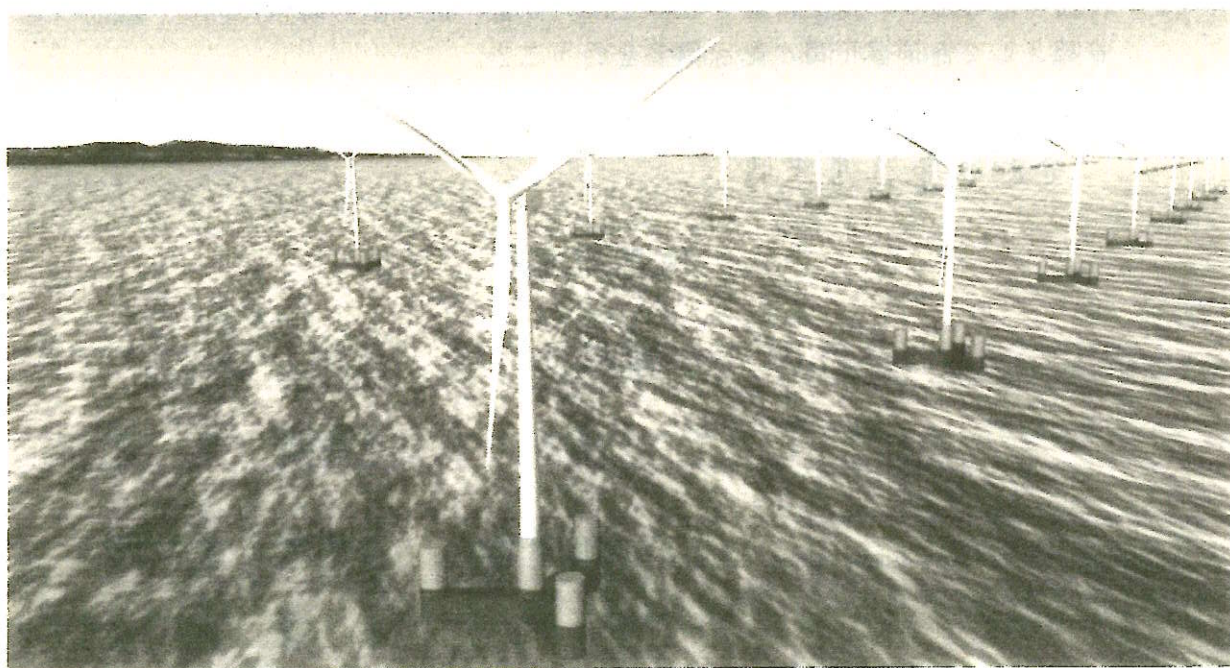
小 林 光 彦

山 内 七 恵

要望書

内閣府特命担当大臣
(防災 海洋政策)

あかま 二郎 殿



久慈市沖浮体式洋上風力発電イメージ

岩手県久慈市議会
自民クラブ

2050 年カーボンニュートラル達成に資する 久慈市沖浮体式洋上風力発電の実現に関する要望

背 景

国では、成長戦略の柱として「グリーン社会の実現」を掲げ、2050 年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言し、脱炭素化の取組を強力に進めています。

とりわけ洋上風力発電は地球温暖化対策への効果的手段として注目され、国においても積極的に導入促進を図っており、特に、水深が浅い海域が少ない我が国においては浮体式洋上風力発電の導入が期待されています。

当市では、平成 30 年度から「ゾーニング実証事業」に取り組み、ゾーニングマップを作成・公表したほか、当該エリアにおける自然環境調査及び関係者との対話など、浮体式洋上風力発電の導入に向けた取組を進めております。

一方で、導入に関し、関係漁業団体の理解醸成、基地港湾整備及び送電網の脆弱性が大きな課題となっています。

つきましては、2050 年カーボンニュートラル達成に向け、下記事項について国における支援を要望します。

要望項目

- (1) 久慈市沖における浮体式洋上風力発電導入に向けた主体的な取り組みを行うこと。
- (2) 持続可能な海洋の構築に資する洋上風力発電の最大限の導入に向け、政府の司令塔として各府省庁間の総合調整を行うこと。

令和 8 年 3 月 吉日

久慈市議会

自民クラブ

会長 八重櫻 友 夫

幹事長 下川原 光 昭

小 林 光 彦

山 内 七 恵